

「親子で考える！我が家のルール～どうしよう!?メディアの使い方～」

対象	乳幼児期の保護者
方法	参加型ワークショップ
時間	45分程度（臨機応変に）
ねらい	・子育て中におけるメディアの上手な使い方について考える。 ・子育ての悩みを共有しながら、メディア育児の危うさについて考える。 ・作戦会議を通して、「我が家のルール」作りを推進する。
進行のポイント	・十人十色の子育て。正解はありませんので、より良い子育てについて考える機会にしましょう。 ・笑顔で、ゆったり、参加者同士の会話を大切にしましょう。 ・「書きたくない、言いたくない時などは無理をしないでくださいね」と言っておきましょう。 ・評価や否定をすることなく、参加者と同じ目線で寄り添いながら進めましょう。
事前準備	① プログラムシート ② サインペン ③ 付箋 ④ グループワークシート2枚 ⑤ 名札 ⑥ アンケート (⑦ メッセージ用紙など) 進行役は、子どもとメディアについて、最新の情報・ニュースなどをリサーチしておきましょう。

ワークショップの基本的な流れ

時間	段階	内容・参加者	形態	M→メインファシリテーター G→グループサポーター	留意点	備考
	受付	◇受付・グループの確認 ◇名札の作成（ニックネーム等）	一斉			
10分	導入	①親のみちしるべのプログラムについての説明 ◇親のみちしるべのルールについて理解する。 ②グループ内で自己紹介 ◇アイスブレイク	グループ	M ◇笑顔であいさつ MG ◇ファシリテーター等紹介 M ◇プログラムの趣旨説明 MG ◇ルールの確認 MG ◇グループで自己紹介 MG ◇アイスブレイク	・明るい雰囲気を作り笑顔で対応する ・言葉が多くなり過ぎないようにする ・参加者の年齢等に応じて、簡単なアイスブレイクを行う	・ワークシート等、配布資料の確認
30分	展開	③グループワーク1 ◆エピソードを読み、自分の子育ての悩みについて考える（自分のやってきた子育てと向き合う）。 ④グループワーク2 ◆メディアを活用した子育ての仕方について、良いアイデアはないか話し合う。 ◆グループで話し合ったことを全体で発表して共有する。	グループ	M ◇ワーク1【ポイント】 ◆エピソードと同じような経験はないかと投げかける。 ◆使っている人、いない人、どちらがよい、悪い、と決めつけないようにする。 ◎話題提供：紹介マニュアルにはこう書かれていますと紹介する（時間が無い時、QRコードを開いて読んでみてくださいねと案内） M ◇ワーク2【ポイント】 ◆自分の家で実践していることを中心に紹介してもらう。また、分かっているけどついやってしまうということも紹介できるとよい。成功例、失敗例、子どもと約束（ルールづくり）をする時のポイントなど楽しく紹介し合う。 ◆グループ毎に発表してもらう。	・メディアに関する悩みに限定せず、子育て全般の悩みについて考えさせる ◎話題提供 親がメディアとのつきあい方について意識できるように（脅しではなく） ・参加者（会場）のようすをみながら、a 付箋に書きまとめる b 書記が内容メモする c 話し合いを優先するを選択する ※指示は明確に ・よいアイデアや全体にお知らせしたいことなど共有し合う。	・ワークシート ・付箋 ・サインペン

5 分	ま と め	⑤振り返り ・ファシリテーターのまとめの話を聞く（4 ページ目などを使いながら） ・アンケートの記入	一 斉	M ◇ルールづくりは、親子で一緒に考えながら。 親の考え（一方的に取り上げるなど）を押し付けないなど、簡単にまとめの話をする M ◆4 ページ目は、時間がなければ、後ほど読むように呼び掛ける。 M ◇アンケート記入の協力お願いを伝える	・参加者の考えや意見に共感しながら進める ・子どもの健やかな成長と大事に思う気持ちを再確認できるように ・子育ては「ひとりで悩まないでね、相談してね」を伝えましょう	・アンケート
--------	-------------	---	--------	--	--	--------